

第23回 稲門建築会特別功労賞(奨励)

はやのようすけ

早野 洋介 (芽H 13)

MAD Architects 共同主宰

推薦理由

早野氏は、中国人建築家マ・ヤンソン(馬岩松)、ダン・チュン(党群)とともに現在世界的に注目を集めている独創的な建築創作グループMAD Architectsを共同主宰しています。MADは東洋的自然観に基く造形を通じて、現代における新しい都市と建築の在り方を挑戦的に提案し、世界各国で建築活動を展開しています。

氏は国際的学際的な経歴を持ち、早稲田大学工学部材料工学科で学ぶと同時に、早稲田大学芸術学校で建築を学び、両校を卒業した後、ロンドンのAAスクールに進み修士号を取得しました。AAスクール卒業後は、ロンドンのザハ・ハディド事務所に所属し、広州オペラハウスや北京SOHOのプロジェクトなどを手がけ、その後ザハ・ハディド事務所の同僚であったマ・ヤンソンとともに、北京にてMAD Architectsを設立し、設計活動を展開しています。

中国や日本をはじめ、東洋の歴史の中に存在した人と自然との関係性を再評価し、現代社会における様々な人びとがそれぞれの感情を豊かに保ちながら、日常生活を送ることができる建築および都市空間を創り出すべく、インスタレーションから建築、ひいては都市スケールまでの様々なプロジェクトを、中国国内にとどまらず、日本、アメリカそしてヨーロッパなど、数々の国において実践しています。

氏は、国際的建築事務所として活動するMAD Architectsを率いながら、21世紀における日本人建築家としての活動の在り方をグローバルなフィールドに拡大するとともに、変化の激しい世界の建築業界の動向を、日本に繋ぐ役割も果たしており、これから育っていく日本の若い建築家、技術者の持つべきビジョンと進むべき方向への一つの道標をも担っておられます。氏は早稲田大学芸術学校の教壇に立ったこともあり、早稲田への貢献も大きいものがあります。

海外での活動が主体であるため、氏の素晴らしい活躍はあまり気づかれていないくらいがありますが、彼の世界的視野での高いレベルでの活躍は稲門建築会の大きな誇りとするところであり、特別功労賞に値するものと考え、強く推薦する次第です。

推薦者: 田村幸雄 (苗S 44)・重村力 (苗S 44)



略歴

- 2000年 早稲田大学工学部材料工学科卒業
- 2001年 早稲田大学芸術学校卒業
- 2003年 英国AAスクール大学院修士課程終了(AADRL)
- 2003-04年 ザハ・ハディド・アーキテクト(ロンドン)
- 2004- MAD Architects 馬岩松(マ・ヤンソン)、党群(ダン・チュン)と共同主宰
- 2008-12年 早稲田大学芸術学校非常勤講師
- 2010-12年 東京大学外部講師
- 2015-19年 英国AAスクール外部有識者審査員

受賞歴

- 2006年 ニューヨーク・アーキテクチュラル・リーグ・ヤング・アーキテクト賞
- 2011年 第17回くまもとアートポリス推進賞選賞
- 2012年 CTBUH: Best Tall Buildings Americas (アブソリュート・タワー)
- 2014年 WAN Awards: Metal in Architecture (オルドス博物館)
- 2014年 Chinese Top 10 Buildings (朝陽公園プラザ)
- 2015年 Los Angeles Architectural Awards: Design Concept Award (8600 Wilshire)
- 2015年 Los Angeles Architectural Awards: Beyond L.A. Award (コンラッド・ホテル北京)
- 2015年 Architectural Record: Ten Best Arts Centers (ハルビン・オペラハウス)
- 2016年 WAN Awards: Performing Spaces (ハルビン・オペラハウス)
- 2017年 Architizer A+ Award Jury Institutional - Kindergartens (クローバー・ハウス)
- 2017年 34th IALD International Lighting Design: Radiance Award Winner (ハルビン・オペラハウス)



ハルビンオペラハウス



ハルビンオペラハウス



清津峡トンネル・リノベーション



朝陽公園プラザ



クローバーハウス



オルドス博物館



Milan Invisible Border



アブソリュート・タワー